

## 令和4年9月教育委員会定例会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和4年9月1日（木）  
開会：午前10時 閉会：午前10時25分
- 2 開催場所 災害対策本部室
- 3 会議次第
  - 9月定例会議事録承認
  - 教育長報告
  - 議案第38号 令和4年度大津市一般会計教育費及び学校給食事業特別会計8月補正予算に係る意見の申出に関する臨時代理について
  - 議案第39号 令和3年度における教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について
  - 議案第40号 第70回大津市教育功績者表彰被表彰者の決定について
- 4 出席委員  
島崎教育長、前田委員、壽委員、八田委員、田村委員
- 5 事務局出席者  
高野教育部長、田中教育部次長、富永教育部次長、青山教育総務課長、西同課長補佐、金城同課主任、濱田同課主事、山田教職員室長、中野学校教育課長、橋本児童生徒支援課長、藤原学校給食課長、二ノ宮生涯学習課長
- 6 会議を傍聴した者  
(1) 一般傍聴者 0人 (2) 市政記者等の傍聴者 0人
- 7 議事の経過 別紙のとおり

(議事の経過)

開会 教育長が9月定例会の開会を宣言

議題の公開／非公開 議案第40号について非公開とすることを決定

8月定例会議事録承認 承認

教育長報告

○議案第38号 令和4年度大津市一般会計教育費及び学校給食事業特別会計8月補正予算に係る意見の申出に関する臨時代理について

【説明】

○田中教育部次長 市議会8月通常会議に上程している教育費等補正予算について市長へ意見を申出たものであるが、会議を開く時間がなかったことから、原案に対する意見はないものとして教育長が臨時に代理したので、教育委員会の承認を求めるものである。

本補正予算は、物価高騰等への対策経費や感染症対策経費等の補正予算となる。教育費の補正額は3,996万2千円の増額となり、補正後の予算総額は、123億9,200万円余りとなる。

内容について、通番34「学校地域連携推進費」は、葛川小中学校KCLプロジェクトの第24回日本水大賞の文部科学大臣賞受賞に係る経費を補正するものである。

通番35及び通番36「設備維持管理補修費」は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、小中学校の3学期のトイレの清掃・消毒業務の委託に係る経費を補正するものである。

通番37「図書館管理運営費」は、和邇図書館の移動図書館車「ミッケル号」の更新費用について、感染症等の影響に伴う納入遅延を踏まえ、繰越明許費を設定するものである。

通番38「学校給食事業特別会計繰出金」は、学校給食事業の原油価格・物価高騰等への総合緊急対策に伴い、特別会計へ繰り出すものである。

学校給食事業特別会計について、通番1「学校給食総務費」は、学校給食事業の原油価格・物価高騰等への総合緊急対策として、学校給食の賄材料費に係る経費を補正するものであり、通番2「一般財源充当事業」は、学校給食に係る経費を一般会計より繰り入れるものである。

【質疑】 なし

【採決】 承認

○議案第39号 令和3年度における教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について

【説明】

○青山教育総務課長 本議案は、令和3年度における教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出し、及び告示を行った上で公表することについて、教育委員会の議決を求めるものである。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は教育に関する事務の管理及び執行の状況について、毎年点検、評価することとなっているが、これまでから、教育振興基本計画の進捗状況の評価をもって、この点検、評価に充てており、第3期計画期間中においても同様に行うこととする。

令和3年度中の大津市教育委員会の委員の活動状況については、教育委員会の定例会・臨時

会や教育長・委員協議、総合教育会議を併せて年42回、その他にもスクールミーティングなど、制限がある中でも活動を行った。

大津市教育振興基本計画の進捗状況の評価の詳細な内容については、これまでの協議や総合教育会議にて議論されたので、説明を割愛する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項において、点検・評価を実施する際には、学識経験を有する者の知見の活用を図ることとなっており、第3期大津市教育振興基本計画の策定時から懇話会の座長であった滋賀大学の野教授に、本点検・評価に対する意見をいただいている。

野教授からは、方針1では、学習への関心・意欲・態度にかかる肯定的回答の割合が全国平均を大きく下回る点を課題としてとらえ、教員のICT活用指導力向上への努力とともに、子どもの学びの実態の検証に基づき、組織的な授業改善の推進が期待されるとのことであった。

方針2では、教育相談関連の事務事業指標での課題傾向（目標値未達成）から、実績値の要因検証とともに、関連教育機関のより適切な機能発揮を下支えしていくことを求めたいとされた。

方針3では、コミュニティ・スクールの設置が進んでいることは評価できるものの、学校・地域の協働を支える学校支援総合推進事業や地域学校協働活動がやや停滞状況にあり、今後、「学校夢づくりプロジェクト」事業等の推進を通じて、底上げを図りたいとされた。

方針4では、目標と実績値に乖離がある指標がやや目立つが、前年度比較で参加者数が増加している項目も見られ、厳しい状況においても関係機関等において活動を止めない努力がなされたことが認められるとの評価をされた。

方針5では、実績値が目標値を下回った指標が多いが、方針4と同様に、前年度比較としては増加している項目もあり、関係機関での市民の学びの場を提供する努力の結果との評価をされた。

他方、方針4、5それぞれで指摘された事務事業の目標値・実績値の乖離については、5年間の計画期間での目標達成を見据えて、現在の実績値としての実態が示す人材育成・社会基盤形成の課題を精査するとともに、残りの計画期間で可能な対応を講じていく必要があると指摘された。

最後に、教育委員会等の条件整備に関わる取組は概ね充実傾向にあり、目標実現に向けた真摯な取組・対応について評価をされ、本進捗管理を通じて検出された課題について、令和4年度以降の施策・事業で効果的な対応を講じ、教育振興基本計画の理念・方針を着実に具現化していくことを期待したいとの評価をいただいた。今回いただいた意見も踏まえ、今後における施策展開に繋げていく。

今後について、本日議決された後、教育大綱の進捗状況の報告とともに、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価として市議会に提出するとともに、ホームページにて公開する。

## 【質 疑】

○田村委員 方針3と関わって、学校運営協議会というのは、学校経営そのものであり、相対的な学校の教育力を高める、底上げするという仕事だが、このような新たな事業を立ち上げている中で、その推進役、事務局長となる人の存在が、今、学校にはないのではないかと。すべて学校全体の中の教員でやりなさいというシステムになっているのではないかと。若干、組織上の問題があるのではないかと。学校経営そのものを考えたときに、母体の基盤となる学校運営協議会を一層進めていくには、人的資源を含めた、ソフトとハードの両面で考えていかないといけないのではないかと感じる。

## 【採 決】 可決

○議案第40号 第70回大津市教育功績者表彰被表彰者の決定について

**【説明】**

○金城教育総務課主任 第70回大津市教育功績者表彰被表彰者の決定について、教育委員会の議決を求めるものである。被表彰者の選出については、選考委員会を8月26日に開催し、功労賞8名、模範賞1団体、永年勤続賞17名を選出した。

**【質疑】** 非公開

**【採決】** 可決

閉会 教育長が9月定例会の閉会を宣言